

狩野川漁協

20日にアユ釣り解禁

700人がクリーン作戦

アユ釣り解禁(20日)に向けて、狩野川漁協(植田好光組合長)主催の狩野川クリーンアップ大作戦が13日、本流、支流全域で展開された。河川関係団体関係者、建設業者、一般市民ら約700人が、ごみ拾いや草刈りに取り組んだ。

伊豆市、伊豆の国市、三島市、函南町、沼津市、裾野市、御殿場市、長泉町、清水町、県沼津土木



清掃に取り組む参加者たち＝伊豆市牧之郷の狩野川右岸

事務所、国土交通省沼津河川国道事務所などが協力。建設業団体や釣り関係のクラブ、河川愛護団体が参加し、晴天の下約

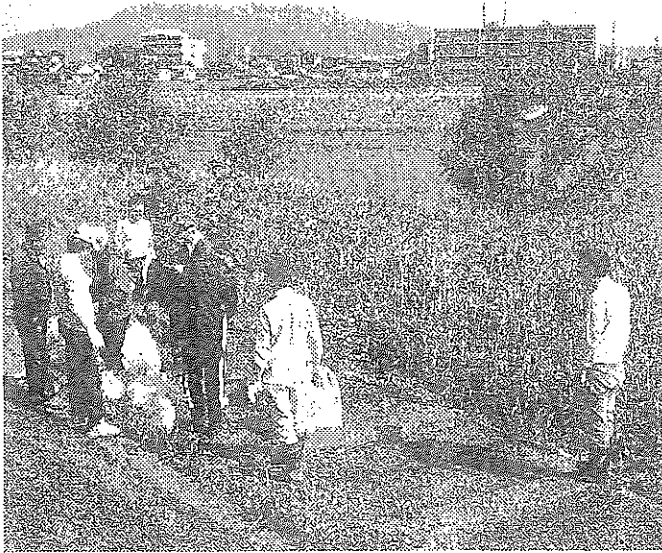
2時間、汗を流した。伊豆市牧之郷の狩野川右岸は、伊豆市建設業組合(森勲理事長)の組合員33人が担当。ごみ袋を

持って河川敷を回り、空川漁協と連携、協力してき缶や袋類などを拾い集め、毎年清掃活動に参加している。川を浄化するために少しでも役に立ちたい」と話した。

狩野川クリーン アップ大作戦

アユ釣り解禁の一週
間を前に狩野川漁協

アユ釣り解禁一週間を
前に狩野川漁協は十三日、
「狩野川クリーンアップ
大作戦」を同川本流五カ
所で行った。



河川敷のゴミを拾い集めた漁協組合員ら

同日午前八時半から
は、伊豆市瓜生野に建つ
顕彰碑前で漁協関係者や
国土交通省沼津河川国道
事務所、並びに自治体関
係者らによるセレモニー
が行われた後、清掃作業
に入った。

沼津地区では左岸、中
瀬町地先の沼津中央病院

裏河川敷で行われ、同漁
協の組合員ら十二人が参
加。出水時に上流部から
運ばれ、河川敷の樹木な
どにからまったビニール
袋や、草の中に隠れた
ペットボトルなどを拾い
集めた。

黄瀬川との合流点では
以前、シーズン後半にな
ると編み笠を被った下
半身ウェットスーツ姿
の落ちアユ釣り愛好家が
見られたが、最近では増
えたウ（鵜）がアユを捕
食するため、釣り人もま
ばらになってしまったと
いう。



河原でごみを拾う参加者―伊豆市瓜生野の狩野川

員、地域企業の社員に加え、日本友釣同好会や日本溪魚会、日本釣振興会などの会員が全国から集まった。ごみ袋を片手に河原を歩き、ペットボトルや空き缶などを回収した。

アユ釣り解禁前に

狩野川漁協

狩野川流域の住民が協力して一斉に清掃する「狩野川クリーンアップ大作戦」(狩野川漁協主催)が13日、開催された。伊豆市や伊豆の国市、沼津市など流域の6市3町の住民約700人が参加した。伊豆市では漁協組合員や狩野川倶楽部の会

員、地域企業の社員に加え、日本友釣同好会や日本溪魚会、日本釣振興会などの会員が全国から集まった。ごみ袋を片手に河原を歩き、ペットボトルや空き缶などを回収した。狩野川は県内で最も早い20日にアユ釣り解禁となる。同漁協の千里久勝美事務長は「雨の影響でアユの餌のコケが流されたが、解禁日までには元に戻るはず。きれいになった川で楽しんでほしい」と話した。